

理解推進事業

絵画や書、写真など 200点を展示
恒例の美術作品展、8月に池袋で開催!!
第30回東京都障害者総合美術展が来月8月6日(木)から10日(月)まで西武池袋本店7階特設会場で開催される。この美術展は「美の中にふれあいがある」をキーワードに、障がい者の文化活動を促すとともに、優れた才能の発掘や障がい者への理解を深めることを目的



としている。例年多摩市内の団体からの出展もあり、昨年は優秀作品に対して贈られる奨励賞を受賞した。
■開催日時:8月6日(木)～10日(月)。午前10時から午後9時(最終日は午後4時まで)■会場:西武池袋本店7階催事場特設会場

資源化センター事業

雨と暑さのなか続く過酷な作業
処理量の増加に対応した体調管理が重要
6月の作業実績は13日間でおよそ65時間。総選別量は前月とほぼ同じ約96トンだった。
雨量は少なかったものの月のおよそ半分で雨に見舞われた6月。じめじめした中での作業が体力を奪い、濡れたびんが手元を狂わせる。これから夏にかけて処理量が増える。さらに慎重な作業管理が求められる。



①フロアの中央を荷物を積んだりト車が走る
②作業場は入口から入って一番奥。夏に向けて処理量はますます増えていく

加盟団体からのお知らせ

- アートひまわり 南野 3-15-1 5階 ☎373-8455
- NPO 法人あしたや共働企画 諏訪 5-6-3-101 ☎372-3690
- NPO 法人暉望(色えんぴつの家・グループ TOMO) 永山 3-9 ☎372-3382
- NPO 法人くぬぎ 永山 3-9 ☎375-2583
- NPO 法人どんぐりパン 諏訪 5-6-3-105 ☎371-9236

- サンクラブ多摩 南野 3-15-1 5階 ☎356-0308
- 多摩市視覚障害者福祉協会 聖ヶ丘 1-28-26-103 ☎372-8051
- NPO 法人多摩市身体障害者福祉協会 南野 3-15-1 3階 ☎338-7009
- 多摩市手をつなぐ親の会 落川 1234-2 ☎371-8809
- 多摩市聴覚障害者協会 聖ヶ丘 1-19-5-201 FAX 372-0939

4 ※の一まの『HOT ほっと』は2014年9月号、本部で発行しておりました『多障協だより』は2014年1月発行の冬号をもって最終号とさせていただきます、2014年9月より2つを統合し『月刊 relier』としてリニューアル発行させていただきます。法人ともども今後ともよろしくお願いいたします

移動支援事業

今年の夏をいつもと違う夏に!
思いきって出かけてみよう
夏の定番スポット・お台場。ショッピングモールや映画館、ゲームセンターなどが建ち並び、8月には一帯でさまざまなイベントが開催される。多摩市からはちよつと遠いが、日の長い夏だからこそ出かけてみたいところだ



5月の異常なほどの暑さもやわらぎ、外出に絶好の季節となった6月は計47件の利用があった。高幡不動でのあじさい鑑賞や町田リース園などの近隣施設のほか、お台場や葛西臨海公園など夏らしい水辺スポットへの同行などの要望が多かった。水に足をつけた利用者は、日ごろの疲れを忘れ、長い1日を楽しんだ。

研修報告

東京都相談支援従事者初任者研修に
の一まと就労の職員が参加
6月から8月まで全6回の予定で開催される今年度第1回の研修に支援センターの一まと就労支援センターの職員各1名が参加した。これは、障がい者等の意向に基づく地域生活実現のために必要な保健や医療、福祉、就労、教育などのサービスの、総合的かつ適切な利用支援等の援助技術を習得することなどを目的としたもので、終了後、定められた要件を満たすと認められれば相談支援専門員を名乗ることが出来る。6月の1、2日目は障害者総合支援法や権利擁護などからサービス計画の立て方、7月の3、4日目は障がい者のニーズについて講義を聞いた。8月の2回は、ケースを想定した実技演習の予定だ。

加盟団体紹介
多摩市視覚障害者福祉協会

多摩市在住の視覚障がい者を中心に1990年に設立された団体。会員相互の親睦や視覚障がい者に対する理解を深めることをめざし、毎月第2水曜日の「点字を読む会」や第4水曜日の「歩こう会」などさまざまな余暇活動や勉強会、講演会などの啓発活動を行なっている。
①毎年10月に健康センターとその周辺で開催される『つむぎ館まつり』では国家資格を持った専門員によるマッサージサービスを行なっている



多摩市障害者福祉協会



つながりを力に、人と人を結ぶ
月刊多障協通信 ルリエ



発行：多摩市障害者福祉協会
多摩市南野3-15-1 総合福祉センター5階
障害者団体共用室

☎042-356-0308 FAX042-311-2327
ホームページ http://tashokyo.com

多障協だより
梅雨も明けて
夏本番の号
2015年7月25日発行
2015年第2巻第7号通巻11号

relier

目次

- 事業報告
- 多様性を受入れることのできる社会へ
- 支援センターの一ま
- 障がい者就労支援センター
- 理解推進事業
- 移動支援事業
- 資源化センター事業
- 加盟団体からのお知らせ
- 加盟団体紹介
- 研修報告

連載

- NEWS
- 今月の花
- プログラムカレンダー
- 今月のひとくし解説
- 現場からの声

多様性を受入れることのできる社会へ

最近、「多様性」を意味する「ダイバーシティ」や性的少数者の総称である「LGBT」(4つの用語の頭文字)という言葉に注目が集まっている。ダイバーシティは性別や障がいの有無、年齢、国籍などにとらわれない社会を築く上で重要なキーワードである。また、同性パートナーシップ証明書を発行する条例を渋谷区が制定した(4月1日施行開始)のを機に LGBT関連の議論が各地で盛り上がっている。私たちの地域には LGBTをはじめ DV被害や虐待、いじめ、引きこもりなどから日々生きづらさを感じている人も多い。当事者の悩みや辛さをきちんと受け止めて向き合っていくことが私たちに求められている。多様な人々がそれぞれの幸せを感じて生き生きと働き、暮らせる社会を実現するために乗り越えるべき課題や壁が山積している。まずは、一人ひとりの意識改革が必要だ。

今月の花

向日葵(ひまわり)



夏の季節で、力強さや明るさをイメージさせるところから施設の愛称に用いられることも多いひまわり。花言葉は、太陽の動きを追うように「私はあなただけを見つめる」「憧れ」など。ただ、花の動きは生長が盛んな若い時期だけだとか。厳しい冬が特徴のロシアの国花がひまわり。この国でも撮影され、戦争に運命を翻弄された夫婦の姿を描いた同名映画には、地平線まで広がる黄色い花畑が効果的に使われている。

NEWS~ 難病『ALS』を正しく理解しよう!

6月21日は世界ALS デイ。ALS(筋萎縮性側索硬化症)の撲滅を願い、新薬の発見や治療法の確立、病気への理解につなげようという、様々なイベントが世界各地で開催された。昨年は、氷水をかぶって患者を支援する「アイス・パケツ・チャレンジ」も話題になった。国内の患者数が約9200人とされるこのALSは、身体を動かすための神経系(運動ニューロン)が変性する病気で、運動や呼吸に必要な筋肉が徐々に衰えていく難病である。原因不明で、未だ治療法は見つかっていない。ALSは決して他人事ではない。まずは病気への理解を深めることから始めたい。

※『relier』は「つながり」や「結びつき」を表わすフランス語。人と人、地域と地域をつなげることで真の共生をめざしたいという意味を込め、リニューアルした広報誌にこの名前をつけました

5月リラックス体操報告

7名が参加。中国語数字の発音練習、音楽をかけながら練習十八法(前段)を行った。参加者からは「眠気が取れる」「疲れた」「気持ちよくなった」「体調が良くなった」などの声があがった。



投稿広場



〇〇(オー)さん投稿 手工芸品 『つばめと藤の花』

5月相談件数

相談人数は、前年同月比65%増の203名。大きな要因として、関係機関からの計画相談に関する相談や、未契約者から体験利用に関する相談が多く、それぞれで前年同月と比べ2倍増加した。
件数は、前年同月比28%増の396件。季節の変わり目や急激な気温差もあり、体調を不安に思う方が多く、医療や健康、生活に関する相談が全体の25%を占めた。
5月の新規登録は1名であった。

今月の映画『相棒 劇場版Ⅲ-巨大密室! 特命係 絶海の孤島へ』

太平洋に浮かぶ絶海の孤島で起こった事件と、その裏にひそむ巨大な陰謀に挑む特命係の姿を描く。水谷豊 主演の人気TVドラマシリーズ「相棒」の劇場版第3作。

お知らせ
社会生活力アッププログラムの開始

地域生活プログラムから名称を変更して再開します。詳細は別紙をご覧ください。

退職のあいさつ

6月20日に退職となりました。短い期間となりましたが、ありがとうございました。(青木)

利用者ミーティングお休み

毎月第1土曜日に実施している利用者ミーティングは、外出プログラムの為お休みです。

コーラスで歌いたい曲を募集します

好きな曲やみんなで歌ってみたい曲を今月25日のプログラムで挙げてください。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 イブニングタイム 17:45~19:30	4 外出プログラム たまどうぶつこうえん 多摩動物公園 10:00~15:30
5 やすみ	6 やすみ	7	8 リラックス体操 14:00~15:00	9	10 イブニングタイム 17:45~19:30	11 映画会 『相棒 劇場版Ⅲ-』 13:30~15:30
12 やすみ	13 やすみ	14	15 スタッフ会議 10:00~12:00 社会生活力アッププログラム 14:00~15:30	16	17 イブニングタイム 17:45~19:30	18
19 やすみ	20 やすみ	21	22 リラックス体操 14:00~15:00	23	24 イブニングタイム 17:45~19:30	25 コーラス 14:00~15:30
26 やすみ	27 やすみ	28	29	30	31	

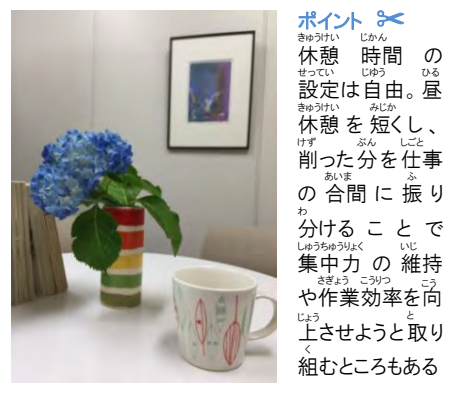
実績報告
計画相談に関する相談増

5月の実績は、相談件数が377件で前年同期とほぼ同じ。方法別では電話での問合せが最も多く、内訳をみると就職前の相談が前年と比べて約2倍増えたのに対し、就職後の相談は約3割減となった。半数近くが登録者本人からで、昨年は会社、家族の順で相談が多かったが、計画相談が増加したこともあり、市などの関係機関、会社、家族の順となっている。

5月の新規就職者は4名。仕事内容は、事務が2名、清掃1名、販売・接客が1名であった。新規登録者は3名。

今月のひと口解説
労働時間と休憩時間

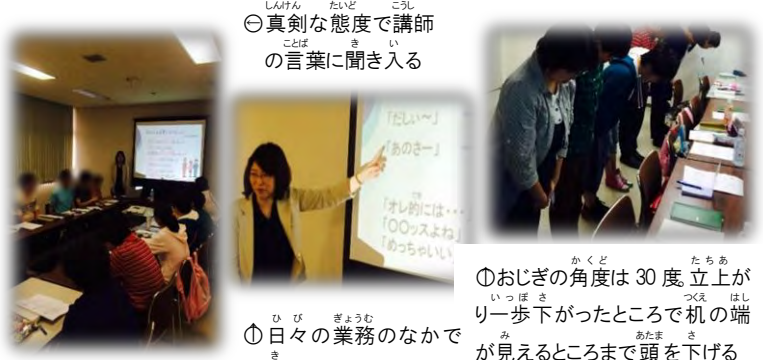
労働基準法では、労働時間が6時間を超える場合は45分以上、労働時間が8時間を超える場合は60分以上の休憩時間を労働者に与えることが義務付けられている。また休憩時間は、原則として自由に使うことができ会社は労働者の休憩時間の過ごし方を強制することはできない。労働基準法上、休憩時間を自由に過ごすことが認められているのは、休憩時間が会社の管理下に置かれない時間であること、つまり労働時間ではないことを意味する。このため休憩時間は労働時間にカウントされず給料が支払われなくても法律違反にはならない。



ポイント
休憩時間の設定は自由。昼休憩を短く、削った分を仕事の合間に振り分けることで集中力の維持や作業効率を向上させようとする取り組みもある

社会人のルール守っていますか?

今年度第2回の生活支援プログラムは「企業におけるビジネスマナー」。株式会社キューピーあいの定着支援担当・藤岡氏を講師に迎え、ビジネスマナーについて勉強した。そもそもビジネスマナーは何のために必要なのかという基本的な考え方から始まり、集団の中で皆が気持ちよく過ごすために大切だということ、仕事をするために必要であるということを確認。参加者は資料を見ながら自身の行動を振り返ったり、藤岡氏の質問に答えたりと意欲的に参加。後半では、おじぎや挨拶の仕方を実際に練習した。手の位置やタイミング、角度等、細かく指導してもらった。



〇真剣な態度で講師の言葉に聞き入る

〇おじぎの角度は30度立上がり一歩下がったところで机の端が見えるところまで頭を下げる

職場ルボ編 vol.2

イトキングリーンアイ株式会社 現場からの声

原宿駅から徒歩約5分。幹線道路沿いに並ぶイトキン関連のビルの1つにこの特例子会社がある。社員個々の能力に合わせて人材を配置するという考え方のもと、2014年7月に入社したAさんはパソコン業務を行なっている。入社当時を振り返り「コミュニケーションも不得手な印象があり、声も小さかったが今は「朝礼を当番制にする」「本人が頑張ったことを認める」「性格を把握する」といった関わり方の工夫で格段の成長が見られています」と上司のHさん。「以前はエレベーターに真っ先に乗り込み、真っ先に目的階で降りていました。しかし、目上の方がいらつしやる場合の所作を伝えたところ、今は自発的に適切な行動が出来ます」。社会人としてのマナー教育も行なっている。この6月からは新規事業であるリネンサプライ事業を任せられることも決まった。『他でもない本人だから出来る作業』であるということが本人の自信とやる気につながっている。「現在切り出しの進んでいない社内業務も1つずつ具現化することで障がい者の能力発揮を促し、他者の役に立つ喜びや自身の達成感を味わってもらいたい。そんな社内環境を整えることが特例子会社としての重要な使命であると考えています」。担当者の言葉からは障がい者を雇用する会社の責務を感じていることが伺えた。

イトキングリーンアイ株式会社
本社：渋谷区千駄ヶ谷3-1-1イトキン原宿ビル5階
代表者：代表取締役社長 宮尾 登
設立：2012年3月(特例子会社)
業務内容：社内物流業務(東京・大阪・茨城)、郵便社内メール、取り扱い、総務事務、名刺作成、社内清掃、リネンサプライ事業(2015年6月スタート)
従業員数：93名(2015年5月末現在)

